



北条砂丘には現在9基の風車が設置され、地球温暖化の防止に一役買っている。日本海から吹き寄せるやさしい風がその羽根を回す

支援制度

support for new farmer

1 新規就農者向けの支援制度

新規就農時の機械・施設に助成
就農条件整備事業

- 対象者** 町内に就農する認定就農者等 (就農時から5年以内、65歳未満)
- 内容** 次の場合に助成する。
(1) 農協または公社が認定就農者等に対し、就農時に必要な機械・施設を貸与するために整備する場合
(2) 認定就農者等が自ら就農時に必要な機械・施設を整備する場合
- 補助率** 1/2 (事業費上限2,000万円)



砂丘地でのらっきょう栽培

新規就農者向け専門窓口を設置
新規就農等緊急相談窓口

新規就農希望の方の円滑な就農に向け、各種情報提供と関係機関・団体と連携した各種支援を行う。

2 移住・定住者向けの主な支援制度

住宅

- 空き家情報活用制度** 町が賃貸・売却希望のある空き家を募集・登録し、移住希望者へ情報提供
- 移住奨励金** 登録されている空き家に町外から転入した場合に、空き家登録者及び利用登録者に対し奨励金を支給 (20万円)

出産
子育て

- 産婦人科検診助成** 妊娠中の産婦人科等での検診費を全額助成 (14回分)
- 妊婦歯科検診助成** 妊娠の届出の際に交付する妊婦歯科健診受診券により、無料で歯科健診の受診が可能
- その他** 一時保育・病後児保育の実施、教育相談窓口の設置、放課後児童クラブの開設、子育て支援センターの設置など



不毛の砂丘を食糧庫に ~ 柘田新蔵の奮起

今でこそ緑で覆われる北条砂丘だが、昔は砂雨を降らせ貴重な水を吸い込む「悪魔の要塞」だった。飛砂を防ぐ植林は古くから行われたが、生活用水の安定確保は容易に進まず、江戸時代末期まで小さなため池から女性が終日、水桶を担いで運ぶ有様。その過酷な作業は「嫁殺し」といわれた。そこで立ち上がったのが地元農民・柘田新蔵。天神川の流水を砂丘に引き込む水路工事は、途中、資金難

で鳥取藩直営に移行しつつも数年がかりで完成。移住農民により新集落「西新田」が誕生した。これを足がかりに明治以降、開拓規模は着実に拡大。現在では自動制御のスプリンクラーで散水される生産性の高い農場が広がり、作物も米ばかりでなく長芋、ぶどう、らっきょうなど色とりどりに栽培される。不毛の地を食糧庫にするという地域の宿願は、幾多の人々がその志を受け継いだ末に、ついに実現された。

Town Topics

担当者メッセージ



北栄町産業振興課
松井 映子さん

北栄町は鳥取県内でも有数の農業どころ。特産物は全国ブランドの大栄西瓜をはじめ、長芋、ぶどう、らっきょうなど多岐にわたります。また、若い農業者も多く、町の農業には活気がみなぎっています。そんな仲間たちと農業を目指してみませんか？ 相談窓口でお待ちしています。

新規就農者紹介

松井 陽一さん

平成17年9月に就農。旧大栄地区に広がる黒ボク地帯で特産野菜を栽培している。経営内容は、ブロッコリー6ha、らっきょう8a。就農には当たって重要なのは「情報収集」と指摘。先輩農家や役場などに積極的に足を運ぶことを勧める。



栄光の大地は
篤農の士たちの
汗と情熱の結晶体。

北栄町産のすいかは全国屈指の優良ブランド。その果実には農業者の熱い思いが詰まっている

まちの環境と農業

environment & agriculture

気 候

風車並ぶ海岸から清風

年間の平均気温は15 前後と比較的温暖だが、降水量は年間平均約1800mmと多い。風車が立ち並ぶ海岸からはさわやかな風が吹き込む。



地 勢

平野をはさんで砂丘と丘陵

町の東端に河口のある天神川が形成した平野をはさんで、日本海に面した北に東西12kmに及び北条砂丘、南に大山から伸びる丘陵地帯が広がる。

農 業

多彩な作物を誇る農業王国

農業産出額は約79億円 (平成18年) で、農家1戸当たりの生産農業所得は県内首位。全国ブランドのすいかをはじめ、長芋、ぶどう、らっきょうなど作物は多彩。

主な農産物

agricultural products

すいか

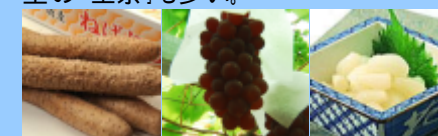


優良銘柄の「大栄西瓜」

16世紀頃に西方から伝来し、明治以降、本格的な栽培・販売が始まったすいか。北栄町西部の旧大栄地区は、質・量ともに西日本を代表する大産地だ。大玉で甘味、みずみずしさともに抜群のすいかが実る理由は、大山山麓の「黒ボク」と呼ばれる肥沃な土壌と交配時期に当たる5月の天候の良さ。特に国内有数の設備をもつ近代的な選果場での厳重なチェックを経て出荷される「大栄西瓜」は、優良ブランドとして市場からの信頼も高い。

長芋・ぶどう・らっきょう
北条砂丘からの贈り物

北栄町東部の北条砂丘一帯は、天神川の豊かな水流と水はけの良い砂地が生み出す作物の宝庫。長芋は、あっさり味の従来種「砂丘ながいも」に加えて、県園芸試験場で開発された粘りが強く肉質が緻密な「ねばりっこ」が登場し用途や味覚の幅が広がった。ぶどうは「巨峰」「デラウェア」が代表品種で、ワインの醸造も盛ん。健康食品としても注目されるらっきょうは、大玉で細長い形状の「らくだ系」のほか、小玉で丸型の「玉系」も多い。



北栄町は多彩な特産物を誇る県内有数の農業地帯。しかし、その栄光は苦難の連続だった北条砂丘の開拓に象徴される、人々のたゆまぬ努力と農への情熱の賜物だ。篤農の士たちの歴史をかみしめつつ、豊饒の大地と向き合いたい。

北栄町

【ほくえい・ちょう】

BASIC DATA

人口	16,218人(H21)
農業就業人口	2,559人(H17)
面積	5,715ha(H21)
経営耕地面積	1,823ha(H17)

特産品 すいか、長芋ほか



お問い合わせ先

北栄町産業振興課農林振興室
〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下112 (北条庁舎内)
☎ 0858-36-5565
http://www.e-hokuei.net/